

◆『幼児期の終わりまでに育ってほしい 10の姿』

この言葉をお聞きになったことがありますか？

私たちがお子様をお預かりし、保育をするうえで忘れてはならないことですし、ご家庭でも知っておいていただきたいことです。

今日は、そのうちのひとつ「ウ：協同性」について紹介します。右の写真をご覧ください。最初は上の写真のように、1人でブロックタワーを作っていました。それはそれで高く積み上げていましたので、写真をとりました。

しばらくほかの教室に行っていて、その後戻ってみると、3人で作っていました。高さは低くなりましたが、2つつ積み重ねて倒れにくくしていました。

どんな話し合いがあったのか、どんな目標でやったのかはわかりませんが、3人で協力して作り上げたところが最初と違います。



園は何人もの子どもたちが過ごす場所です。子どもは、ほかの人がやっているのを見て、互いに気になり、刺激を受け、時には「いいな～」という思いをもち、難しいことにもチャレンジしてみようと思うようになってくると思います。そして、「一緒にやりたい」という気持ちが芽生えてくることもあると思います。私たち大人は、それに気づいたときに見守って様子をしっかりと見ることや、子どもが必要としたときにアドバイスをすることが大切なのだと思います。

友だちと一緒に何かをする経験は、将来大人になったときに必要な力につながると思います。自分ひとりでやる経験も大切ですが、ひとりでやるよりも、もっと大きくてすてきなことができる経験につながると思います。保育の中で、協力する楽しさや面白さを実感できるような経験をさせていきたいものです。

本園の『4つのおやくそく』のどれと関連するのかなと考えると『おともだちにやさしく！』と『さいごまでがんばる！』の2つかなと思いました。

園で行うすべての保育・教育活動は、本園の『4つのおやくそく』につながらないといけないし、『幼児期の終わりまでに育ってほしい 10の姿』を実現するものとして行っていきたいと考えています。



★まじめな話でしたね。面白くなかったらすみません！